

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 Dual-energy CT による物質弁別能を用いた定量性の上腹部悪性腫瘍への有用性に関する検証
	●研究の対象 2021年4月～2024年8月に浜松医科大学医学部附属病院および福井大学附属病院で上腹部造影CT検査を受けられた方100名
	●研究の目的 Dual-Energy CTは2つの異なるエネルギー（管電圧）で撮影することで、物質吸収係数の違いから物質を区別したり、特定の物質のみを抽出することができる技術をもった最新のCT機器で、当院でも導入されています。この技術を応用し、画像を解析することで、これまでの画像診断に加えて診療に有用な情報を得られる可能性があります。しかし、dual-Energy CTは近年臨床応用された技術であり、未解明の部分も大きいのが現状です。 今回の研究の目的は、撮影されたCT画像を解析することによって、複数の定量パラメーターから腹部悪性腫瘍の診断、悪性度、治療効果や予後などを非侵襲的に予測できる指標を探ることです。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2027年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では福井大学附属病院で得たデータを浜松医科大学へ提供します。データはCD-ROMに保存し、郵送で行います。CD-ROMに保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究対象者背景：年齢、性別、既往歴、合併症、造影剤アレルギーの有無、家族歴、生活歴、服薬状況 ・身体所見：身長、体重 ・臨床検査：血液学的検査(白血球数、ヘマトクリット値、ヘモグロビン値、血小板数)、生化学検査(AST、ALT、ALP、Bil、Col、Alb、BUN、Cr)、腫瘍マーカー ・造影 CT 画像検査データ ・病理組織所見：腫瘍組織診断
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 放射線診断学講座 尾崎公美 国立大学法人福井大学 大谷 昂</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自身の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されな</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>い場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
《問い合わせ先》	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 放射線診断学講座 担当者： 尾崎公美 TEL： 053-435-2242</p>